



将来世代のために。 共感と共創でつながる、 希望あふれる北海道の創生。

「チャレンジフィールド北海道」は、経済産業省の「産学融合拠点創出事業（J-NEXUS）」として、2020年にスタートしました。これは、社会や地域のさまざまな課題に対し、大学や自治体、企業などがもつ「知」や「つながり」を生かして北海道の経済や暮らしをもっと豊かなものにしていく取り組みです。



[私たちのミッション]



[私たちのアクション]

新事業創出と
地域課題解決

オープンイノベーション・
コミュニティの創出

01 地域活性化支援

02 スタートアップ創出支援

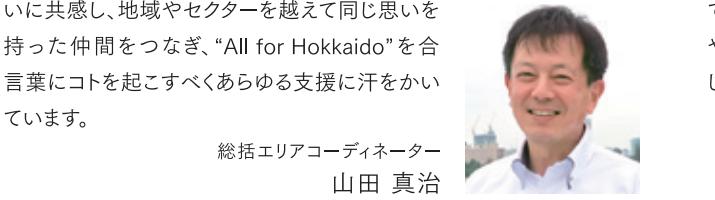
03 共創支援 プラットフォーム構築

ごあいさつ

北海道の明るい未来を語り合い、人も組織も
地域もつなげて、チャレンジの機会を沢山つくりたい。

「チャレンジフィールド北海道」で活動していると道外の方に伝えると、誰もが羨ましがります。北海道はそれだけの魅力と可能性をもった地域です。道内各地には、地域課題を解決しよう、次世代に誇れる社会をつくりようと取り組む方が沢山いらっしゃいます。私たちは、彼らの強い思いに共感し、地域やセクターを超えて同じ思いを持った仲間をつなぎ、「All for Hokkaido」を合言葉にコトを起こすべくあらゆる支援に汗をかいています。

総括エリアコーディネーター
山田 真治



インタラクティブな関係性、
イノベーション創出で新しい社会をめざす。

現在、北海道内の大学・国研が力を結集して技術シーズを持ち寄り、そして市場のニーズをとらえ、プロジェクトを展開しています。ここには先の未来を見据え何をこの北海道に残し活用していくのか、技術シーズと市場ニーズのインタラクティブな統合からイノベーションが期待されています。そのためにも大学・国研は多くの企業や自治体とコミュニケーションを活発化させ、新しい社会をめざし挑戦していきます。

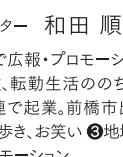
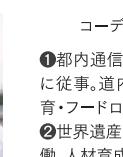
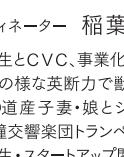
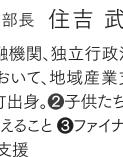
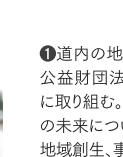
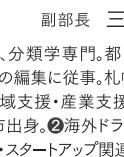
副総括エリアコーディネーター
北川 泰治郎



私たちがみなさんの伴走をします。

大学などの上級エリアコーディネーターと連携し、活動しています。

①プロフィール ②北海道と同じくらい好きなもの＆こと ③専門分野



上級エリアコーディネーターの紹介は挟み込み資料をご覧ください。



■ チャレンジフィールド北海道公式サイト
<https://challenge-field-hokkaido.jp/>



■ チャレンジフィールド北海道 no+e
<https://note.com/cfhokkaido/>

ロゴに込めた想い／チャレンジのCとフィールドのFで「CF」の形状をモチーフとしました。自然豊かな北海道で、これから育っていくあらゆるイノベーションを、力強く芽吹く「葉」として、同時に、大地からの飛躍を表す「翼」を隠喩するイメージとして託しました。

本事業に関するお問い合わせは



公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）
事業戦略統括部 チャレンジフィールド北海道 事務局（創出エリア支援機関）
TEL:011-792-6151 E-mail:yugo@noastec.jp



NEXT University-Society
open innovation initiative

チャレンジフィールド 北海道

CHALLENGE FIELD HOKKAIDO



地域創生に向け、「実践」と「仕組みづくり」を推進しています。

Action
01

地域活性化支援

新事業の創出や地域課題の解決のため、課題の発掘や、大学・高専・研究機関等の研究開発支援、ビジネスモデルづくり、体制づくりなど事業化に向けた支援を、北海道内各地の上級エリアコーディネーターと連携して行っています。



重要課題となる5つの項目



Action
02

スタートアップ創出支援

スタートアップ創出に向けて、道内の各プラットフォームと連携し、大学や高専を対象としたスタートアップ人材の発掘・育成を行っています。



進行中のプロジェクトと関連機関

岩見沢
1 地域の再生可能・自立型エネルギー・システムの構築
社会インフラ ○ナノグリッド ○マルチ燃料エンジン
●北海道大学

札幌・岩見沢・小樽
2 こころとカラダのライフデザイン
市民とコミュニティ ○プレコンセプションケア ○高校生
●北海道大学

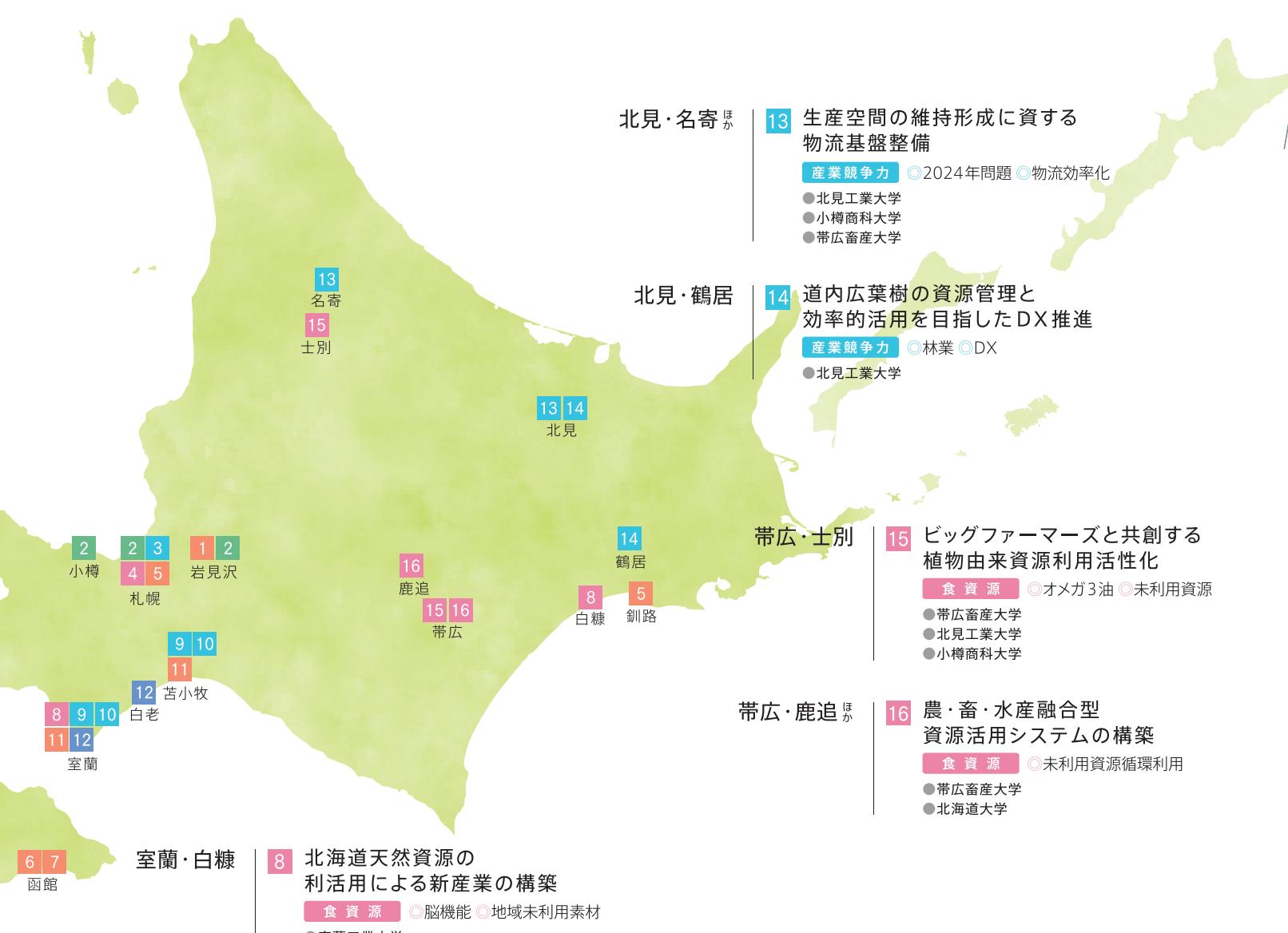
札幌・全道
3 産業技術による北海道の農林水産業の効率化推進
産業競争力 ○技術融合 ○バイオ資源循環
●産業技術総合研究所

4 脱炭素を実現するサステナブル醸造研究教育拠点
食資源 ○ワイン産業 ○人材育成
●北海道大学

5 地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成
社会インフラ ○地域資源 ○地産地消
●北海道大学

函館・全道・全国
6 SAVS (Smart Access Vehicle Service) の地域展開とサービス連携
社会インフラ ○MaaS ○AI配車システム
●公立はこだて未来大学
●札幌市立大学

7 AICT・マイクロ波・無線給電・ロボティクスによる除雪融雪革命
社会インフラ ○雪害対策 ○自動融雪ロボット
●函館工業高等専門学校



Action
03

共創支援 プラットフォーム構築

セクターを越えたつながりを創出し、北海道内の課題解決やさまざまなチャレンジを継続的に支援していくための、仕組みづくりを行っています。



私たちにできること

SUPPORT 1 見つける

SUPPORT 2 つなげる

SUPPORT 3 育てる

SUPPORT 4 広げる

研究シーズや地域課題、ニーズの発掘を行います。

既存のセクターを越え、人と人、組織と組織との新たなネットワークづくりを行います。

課題解決のためのプロジェクトの成長に向け、競争的資金の活用やアドバイザーによる支援を行います。

道内外のネットワークを生かした取り組みの拡大や、広報・PR支援を行います。

上級エリアコーディネーターと事務局が連携し、新事業創出・地域課題解決に向けたさまざまな支援を行っています。

